

# 持続可能な社会・まちづくりを



通学路の自転車横断帯

## 交通安全対策と横断歩道の改善整備は

◎ 美咲野北側周辺の横断歩道や自転車横断帯の設置の経緯は。  
◎ 住民の要望に沿ったものになっているのが。

◎ 新設した横断歩道は警察との協議により要望箇所では危険と判断されたため、やや西側寄りに設置をした。  
◎ また、交差点の自転車横断帯は新設ではなく既設の横断帯であり、警察にて検討の上、歩行者及び自転車の通行が多い事から、県とともに塗り直しを行った。

## ふるさと納税における町の特産品の人気は

◎ ふるさと納税での人気商品は。またどの地域の方が寄付をされているか。  
◎ また、ふるさと納税の寄付から返礼品の送付までの流れはどうなっているか。

◎ 現在人気の商品は「うまかポーク」を使用した豚肉のスライスが人気となっている。寄付者の多くは関東圏に在住の方が多い状況になっている。

◎ また全体の流れは受付し、その情報を収納代行業者、返礼品業者、町で共有し寄付者への返礼送付と収納を行っている。



うまかポーク

## 町民と行政の連携推進と情報発信の強化施策は

◎ 様々な世代や行政への無関心層に届く情報発信を進めるとの事だが、どのような媒体で行うかのビジョンは。  
◎ 若い世代がどのような媒体を活用しているかの調査研究は。

◎ 現在LINEセグメント配信を活用しているが、Facebookや若者の利用が多いInstagramの活用にも力を入れていきたい。  
◎ また媒体同士の連携も情報収集しながら職員の負担にならない情報発信とサービス活用を検討していく。  
◎ また若い世代への発信力強化には役場若手職員からも情報を募り対応していく。



スマホ時代の情報発信

# 振興総合計画を基礎に

## 総務委員会レポート



リニューアルした駐車場とイベントスペース

## 新しい役場駐車場等の利便性については

◎ 役場駐車場は庁舎を利用する方や周辺施設に行かれる方を考慮し3時間まで無料としているが時間設定は適切か。  
◎ また庁舎前広場はイベント等への利用貸し出しを考えているのか。

◎ 無料時間の設定については「2時間」か「3時間」かの議論を行った。会議利用や商店街活性化を考慮し2時間プラス前後30分を想定している。

◎ また庁舎前広場については災害時、緊急時のスペースとして確保しており、今後は他の利用も検討していく。

## 隣保館のあり方

◎ 隣保館の名称を時代に即して変えられないか。

◎ 大津町全体としての啓発の拠点として、地域とのつながりを重視している。

◎ 地域の方々も「何かあったら隣保館へ」と言っておられる。名称については今後の検討課題だが、地域の要望がある限り隣保館の名称は今後も使用していきたい。



人権啓発福祉センター（隣保館）

## 資源ごみの持ち去りに対し厳罰化はできないか

◎ 空き缶の回収を行う資源物のごみの日に無断で持ち去る事案が発生している。

◎ 条例で禁止され、罰金も定めているが改善されない。  
◎ 罰金額を上げた際、熊本市が行っている氏名公表などで抑制が出来ないか。

◎ 資源物ごみの持ち去りは広域的に行われていることから現行犯逮捕が難しく、目撃された人にはナンバーを控えて頂くなど依頼している。

◎ 最近、警察が行方者（持ち去り犯）を特定し、条例に基づき町から本人に禁止命令書を出した事例もある。

◎ 罰則強化については今後近隣市町村と協議を進めたい。



資源持ち去りは犯罪

# どう描いていくのか

## 賑わいと活力の創出を

◎ 町の賑わいと活力の創出について、まずは関係団体との情報共有やWi-Fi整備など出来ることから進めていくべきではないか。

▲ 情報の共有が不足していたので、今後は情報の共有に努める。また、Wi-Fi整備についてはインバウンド向けに検討したが、コロナ禍で止まっている。今後は情報インフラとして関係課と整備を検討する。



大津町の風景

## 農地の担い手は

◎ 若い農業者も減少してきており、耕作放棄地の解消率を上げていくことが難しくなるが、その点はどう考えているのか。

▲ 今後導入するタブレット端末を活用しながら、規模拡大の意向など情報収集に努め、マッチングを行うなどして解消していきたい。



芋畑

## 耕作放棄地解消におけるタブレット端末の活用方針は

◎ タブレット端末を活用した情報収集はどのようにして行うのか。

▲ 農地ナビと連動するアプリケーションを国が開発しており、農地の状況などを把握することが可能になる。また、多面的機能支払交付金事業の必須メニューとして耕作放棄地の解消があるので、各集落で取り組んでいただいている。



# 大津町の未来を

## 経済建設委員会レポート



## 農工商併進のバランスを

◎ 農工商併進での発展は、1次、2次、3次産業の体制を整え6次産業化まで持っていくことが重要である。大津町の強みである交通の要衝や豊富な地下水など町の魅力を把握し、宣伝する必要がある。

▲ 大津町の強みをしっかりと把握し、関係課やプロジェクトチームと情報を交換しながら企業誘致を進める。

## 町内企業の人材の確保の方法は



◎ 人材の確保において高校生に絞っているが町と高校の繋がりはとても重要である。国家百年の計は教育にありとも言われるので、高校との繋がりはもっと強くなければいけないのではないかと。

▲ 人材の確保は、土地を準備し企業立地したとしても非常に懸念されている材料になる。県との連携や、民間の力を借りながら、今後の人材確保に取り組む。

## 企業誘致の取り組みは

◎ 工業団地の整備について、町としてはどのような取り組みを行っているのか。

▲ スピード感を持って進めていくため、適地調査の予算を計上している。候補地選定に当たっては、事前に内部で検討し、候補地の想定を持ちつつ、専門家の意見を踏まえ適地を選んでいきたいと考えている。また、インフラ・住宅・教育・子育てなど多岐にわたる分野で、プロジェクトチームを立ち上げ、検討を進めている。



# やすい大津町へ



## 保育士の処遇改善

**Q** 保育士の処遇改善について、公立園も対象となっている。

町内の公立園職員を対象としないのならば働く意欲の低下や公立の職員不足に繋がるのではないかと。

**A** 町内公立園の職員の賃金は民間と比較しても高いことや、菊池圏域2市2町でも実施してる自治体はなく現行以上の改善は必要ないため、今回は公立園については見送ることとした。

**意見** 公立が上げないと私立も上がらないと思う。

## 給食費の現状は

**Q** 近隣市では給食費の値上げを行うが本町の状況はどうか。

**A** 食材の調達に関し、米、パン、牛乳の基本食材が値上がり傾向であり、その他の食材も値上がりが見られる。

また、値上げを行う場合、根拠の整理や保護者アンケートの実施が必要になる。

**意見** まず、経費削減などの努力をした上で、やむを得ない場合はしっかりと説明が必要だ。



大津町の給食

**Q** 第6次大津町振興総合計画のなかに健康づくりの推進とあるが、具体的な取り組みは。

**A** 健康ポイント事業と民間企業と連携した事業展開を考えている。

また、4月に配置予定の地域活性化企業人からのアドバースも取り入れながら実施していく。



# 健康で暮らし

## 文教厚生委員会レポート



## ワクチン接種の現状は

**Q** ワクチン接種について、3回目接種の進捗状況は。

また、子ども向け接種の状況は。

**A** 高齢者に対しては順調に進んでおり3月中には終了する見込みである。

また、小児ワクチンについては、3月22日より接種開始予定だが、事前の意向調査では、希望する方が4割、様子を見たい方が3割、接種拒否の方が3割という結果だった。

## ワクチン予約の回線をフリーダイヤルにすべき

**Q** 国は一日も早く多くの人にワクチン接種をお願いすることで費用を全額国の補助としている。

国費で賄えるのであるからコールセンターの回線をフリーダイヤルにするべきではないのか。

**A** 熊本市など一部の自治体ではフリーダイヤルを導入しているが、本町と同規模の自治体で導入している市町村は少なく、費用対効果を考えた上で事業を展開している。

## 移動販売車のさらなる利便性向上を

**Q** 移動販売車の運営状況は。また、広報などの周知は。

**A** 令和3年8月より事業拡大し、対象地区にチラシを全戸配布し周知をしている。

また、利用頻度の少ない地区へはチラシを再度全戸配布している。

今後も売り上げ向上と高齢者の外出支援に貢献したい。

**意見** 利用者からは好評の声も頂いている。

地域の違いはあるが好事例も取り入れ、安定的に事業が継続できるよう工夫してもらいたい。



きくちのまんまGO 2号車